

青少年 とちぎ

令和8年3月1日

第226号

CONTENTS

- 1 親子学び合い事業
- 2 少年の主張発表県大会
- 4 2025「家庭の日」絵日記コンテスト結果
- 6 ミライチャレンジプロジェクト事業
- 7 青少年育成市町村民会議全体連携会議
青少年育成セミナー
- 8 栃木県青少年育成県民会議表彰
- 9 市町村民会議活動報告
- 10 青少年育成指導員会総会及び研修会
青少年指導者等顕彰
御寄附いただきました
賛助会員(団体)の御紹介
- 11 賛助会員募集
- 12



栃木県青少年育成県民会議
シンボルマーク

【発行】栃木県青少年育成県民会議（(公財)とちぎ未来づくり財団青少年育成課）
宇都宮市本町1-8 TEL028-643-1005 FAX028-650-5284 URL : <https://www.tmf.or.jp> E-mail : ikusei@tmf.or.jp

令和7年度親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～

「親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～」は、子どもたち一人ひとりが、インターネット・スマートフォンの危険性や利便性などの特性をしっかりと理解した上で、インターネットやスマートフォンをどのように活用して自らの人生に役立てていくかを主体的に考える、そのきっかけになることを目的としています。

令和7年度は、県内の小・中・義務教育学校及び特別支援学校99校で講習会を実施しました。実施希望につきましては、当県民会議までお問い合わせください。

主体的にスマホが使える人を目指そう

スマホは、手紙や電話と同じ「情報を伝える道具」です。スマホの使い方は、言葉選びや伝える目的を考えることが重要です。

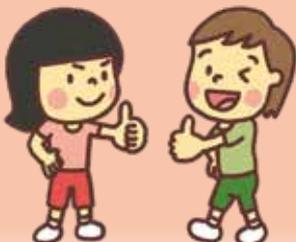
自分の意見を持っている



冷静に話し合うことができる



寛容である・優しさがある



責任を理解している



第48回栃木県少年の主張発表県大会

本年度の栃木県少年の主張発表大会には、県内の中学生11,188名の応募があり、各地区大会には各校代表の155名が参加しました。県大会は9月20日(土)に栃木県総合文化センターサブホールで開催され、8つの地区大会で選ばれた代表16名が主張を発表しました。

今回も、男女平等社会の実現や多様性、介護についての提言など社会の課題を鋭くとらえたテーマについて、中学生らしい斬新な視点からの瑞々しい主張が展開されました。また県大会では昨年に続いて、高校生がボランティアとして受付や司会を担当しました。



【県大会入賞者一覧】

賞	氏名	学校名・学年	題名
最優秀賞	小林 心結	作新学院中等部3年	月か太陽か
優秀賞 (発表順)	田中 里彩	県立矢板東高等学校附属中学校3年	心を込めて
	高久 桃	芳賀町立芳賀中学校3年	私にできること
	縄田 美叡	宇都宮短期大学附属中学校3年	命を守る力になりたいー今できることから
奨励賞 (発表順)	大槻 万結	大田原市立大田原中学校3年	もう一つの言語
	田中 真央	真岡市立真岡西中学校3年	世界へと繋ぐ
	米澤夢愛亜	鹿沼市立東中学校3年	二十一世紀を生きる私たちへ
	荒川 榮睦	栃木市立東陽中学校3年	地域のために行動する心
	佐々木美瑠	宇都宮市立陽西中学校3年	「今」を大切に生きよう
	櫻井 智弘	佐野市立北中学校3年	次の未来に向けて
	大森 春音	那須町立那須中学校3年	有り難うの心
	小林 柚輝	栃木市立栃木南中学校3年	国の壁を越えて
	マハラジャンでしゅな	佐野市立城東中学校3年	ありのままの自分
	小池 杏奈	下野市立南河内第二中学校3年	当たり前という幸せ
	板橋 璃空	那珂川町立小川中学校3年	自分らしく生きる
野口 聖香	鹿沼市立北中学校3年	人生はビュッフェ	

最優秀賞



月か太陽か

作新学院中等部3年

こばやし ここな
小林 心結

「元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。他に依って生き、他の光に依って輝く病人のやうな蒼白い顔の月である。」

「なんて悲しい、だけど何と力強い言葉なの。」歴史の授業でこの言葉と出会い、私はその意味について深く考えるようになりました。これは大正時代に、女性差別からの解放を訴えた、平塚らいてうの言葉です。「蒼白い月？病人のようなの？」皆さんはこの言葉にどのような印象を持ちますか。

昔、女性は政治に参加する権利がない、また十分な教育を受けられないなど、男女が不平等であったことは、学んで知っています。「男尊女卑」という言葉があったように、男性よりも劣っていると、決めつけられた時代もあったのです。

でも、私は今、男子も女子も同じ教室で、とても楽しい学校生活を送っています。みんなが夢に向かって一緒に勉強したり、ボランティア活動に取り組んだりしています。私は様々な活動を通して、地域や社会に貢献したいと思うようになり、昨年防災士の資格を取りました。女性の活躍は地域力の向上につながります。しかし、混乱時には女性が被害に遭う危険性が高いことも知っています。「女性ばかりが、なぜ嫌な目に遭わなければならないの？なんだか腹立たしい。昔の人は我慢できたの？そんなに女性は弱いものなの？」そんな私の気持ちに太陽の光を射してくれるような、女性を見つけました。

その人は、私と同じ栃木県出身の大関和さんです。関東大震災の時、何よりも人命救助を優先させるように訓練された看護師「トレインドナース」として多くの被災者を守りました。心のケアや地域への支援など、看護だけではない彼女の災害対応は、現代の防災士の役割と同じであり、私の憧れる女性の一人です。男女差別が根強く残る時代に、「命を扱うのは金儲けの仕事、糞尿だらけの汚れた仕事」とひどい差別を受けながらも、女性が公の場で働くことの価値を高めました。彼

女の力強い思いが、多くの人の心を、動かしたのです。どんな場所においても、大きな舞台で活躍できることを、和さんは証明してくれました。栃木の歴史や文化を誇りに思う気持ちが、自分の可能性を広げる原動力に変わったのです。

私は、栃木県防災士会に所属しています。災害時に避難所を運営することを学ぶ「HUG」や、防災情報の共有などの活動をしています。そのような活動を経て、県の垣根を越えた同世代の学生の、防災チームを立ち上げたいと思うようになりました。「県の垣根を越える。」そう思うようになったきっかけは、学校での様々な社会貢献活動を通し、遠く離れた誰かを思い、寄り添うことの大切さを教えてもらったからです。部活動で学んだ手話や点字を役立てながら、女性の目線を生かした、誰一人取り残さない活動に取り組みたいです。

女性、男性、それぞれの目線があるからこそ、気が付くことがたくさんあるはずです。女だから、男だからという性別の固定観念に縛られず、女性も男性も様々なことにチャレンジできるチャンスがある。それが真の男女平等な社会なのではないでしょうか。一人の「人間」として、何ができるのかを考えていかなければならない時代だと思います。だからこそ、自分が埋もれてしまっはいけない。

長い年月を経て、私の手元に届いた平塚らいてうの言葉。冒頭に続いて述べられていたのは、女性の立場を取り戻さなくてはならないというものでした。それは私の心を、ぱっと鮮やかに照らしました。彼女の言葉を借りるならば、「あなたは月ですか、それとも太陽ですか？」私は太陽になりたい。どんな人にでも、温かく柔らかな、そして力強い陽の光を注げる、愛のある女性に私はなりたい。

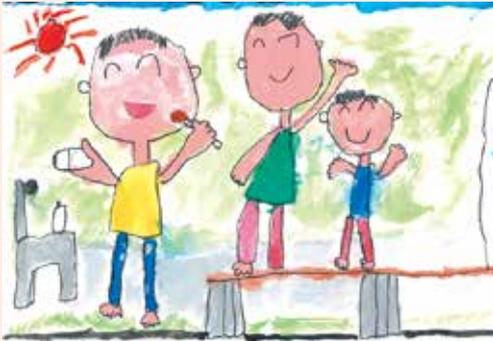
元始、女性は実に太陽であった。そして、今もなお、自ら輝くまぶしい太陽である。

とちぎ心のスクラム県民運動

2025家庭の日 絵日記コンテスト 結果

ふれあい育む「家庭の日」を広報・啓発し県民総ぐるみで青少年の育成に取り組むため、県内の小学生以下を対象に家族のふれあいや思い出等をテーマにした絵日記を募集しました。今回は817点の応募があり、いずれも子どもたちの家族を大切に思うやさしさや家族への感謝にあふれた心温まる作品ばかりでした。

また、入賞作品を掲載した「2026年度 家庭の日カレンダー」を作成し、県内の小・中学校や公民館などにお配りしました。



参加賞として
応募者全員に
「ふわふわシマ
エナガちゃん
コインケース」
を贈呈しました。

毎月第3日曜日は



ふれあい育む
家庭の日

最優秀賞

高木 暁大さん (小1) 「うわぐつあらい」



ぼくは、どようびにおねえちゃんとうわぐつをいっしょにあらいます。ふたりであらっていると、いもうともでてきて、みんなであそんでしまうから、いつもでたすがびちょびちょになります。ままはそれを見て、「ついでにあらうか」とでたすをあらってくれます。きれいになったてらすで、またぼくたちはあそびます。なつのうわぐつあらいは、びしょぬれになってつめたくて、たのしいです。うわぐつあらいはめんどうくさいけど、みんなといっしょだとおもしろいです。

優秀賞

月井 美緒さん (年長) 「なつのおもいで」



なつやすみに、かぞくでグランピングにいきました。まえは、がっこうだったので、きょうしつやこうていがのこっていました。こうていでは、かぞくみんなでむしさがしやみずあそびをしました。きょうしつでは、おかあさんがせんせいやくをして、がっこうごっこをしました。おおいすにすわると、むねがどきどきしました。ちょっとだけ、しょうがくせいになれるみたいでうれしかったです。らいねんから、しょうがくせいになるのがすごくたのしみになりました。

優秀賞

小曾戸 奏人さん (小2) 「さいこうの「くすり」」



あたまがいたい。ガンガンする。目のおくもいたい。よる、ぼくはねつを出した。体はガタガタなんだかともいたい。ねつをはかってみると、たいおんけいは39ど5分だった。ぼくはこわくなった。お母さんにつたえると、あたたかいタオルを目にのせてくれた。いつもけんかをしてしまう弟が「奏人、だいじょうぶだよ。早くよくなってね。」とあたまをなでてくれた。お母さんは、「きっとよくなるよ。」とぼくの手をにぎってくれた。ぼくの気持ちは、とってもポカポカになった。

優秀賞

谷内 結太さん (小4) 「ぼくの家族と野球」



野球のし合の時に朝早くからおうえんしに来てくれるお父さん、お母さん、弟がいます。そんな家族が大好きです。いつもお母さんはごはんを作ってくれ、し合ではたくさん写真をとってくれます。お父さんはいつも長く仕事をやっているのに、おうえんしに来るなんてぼくはすごいと思えません。弟は、ぼくが打者の時、元気よくおうえんしてくれるのでうれしいです。ぼくが楽しく野球ができるのは、お父さん、お母さん、弟がいるからです。ぼくの家族は世界一です。



優良賞 根本 歩さん(小1) 「たからさがし」

ぼくのなつやすみのたのしみは、おじいちゃんのおうちのはたけでたからさがしをすることです。

はたけでは、きらきらのとまと、つやつやのなす、ぴかぴかひかるすいかなどたくさんのがやさいがなっています。ぼくはまいにち、たくさんのはたからものをとって、おばあちゃんにとどけます。おばあちゃんはやさいをつかっておいしいごはんをつくってくれます。

おじいちゃん、これからはねちゅうしょうにきをつけて、たくさんのはたからものをつくってね。

優良賞 萩原 千祥さん(小3) 「わたしの作るたまごやき」

わたしの朝の日は、たまごやきを作ることです。お母さんに教えてもらって一人で作れるようになりました。わたしは、お手つだいをしているお母さんを助けることが大好きです。

弟とお父さんは、ちょっぴりねぼすけです。お父さんのおべんとうにたまごやきをつめて、のこりは朝ごはんにみんなで食べます。

わたしの作るたまごやきは人気です。作るのも食べるのも、家ぞくがえがおで心が温かくなるので、これからもつづけたいです。



優良賞 高岩 祐志さん(小3) 「家族の夏」

ぼくは、お母さんと弟と一緒にわらびもちを作りました。

さいしょは、粉と水でさらさらだったけれど、火をつけてかきまぜ続けたら、のりのようにすぐねばねばになりました。うでにぐっと力を込めて、せいいっぱいかきまぜました。

次に、流水で冷やして、一口サイズにちぎりました。弟が、アリくらの小ささにちぎったので、家族みんなで大笑いしました。

さい後に、きな粉と黒みつをかけて食べたら、夏らしくておいしい!!さい高!!

優良賞 二戸 麻結佳さん(小3) 「一しょうもちをせおったよ」

8月22日は妹の一才のたん生日でした。一才のたん生日では一しょうもちをせおうので、前の日におじいちゃんとおばあちゃんといっしょにおもちつきをしました。できあがったおもちには、みんなで食べるに手がたとったり文字を書いたりしました。

当日妹がそのおもちをせおきました。みんなはく手をしていました。みんなも妹もみんなうれしそうで、わたしもうれしくなりました。みんなにみまもられて妹がこれからはますます大きくなってほしいです。



優良賞 石塚 心遥さん(小3) 「夏の思い出」

わたしは、夏休みにかぞくでかごしまのそ父母の家へ行きました。かぞくは四日ぐらいで家へ帰りましたが、わたしだけかごしまにのこりました。お母さんの妹と花火大会に行ったりとても楽しかったです。

でも、妹とはなれてすぐするのは初めてだったのでだんだんとさみしい気持ちになりました。いつもは、けんかをする事が多いけれどはなれると妹のことばかり考えていました。妹とひさしぶりにあってギューっとだきしめるとあたたかい気持ちになりました。

優良賞 大山 丈輔さん(小4) 「おべんとう」

ぼくのママは、時々ひん血になってねこむ時があります。毎日家事をがんばってくれているママが辛そうにしているのに、ぼくは何もしてあげられないのがやしくて、何かできないか考えて、はじめて一人で買い物に行く事にしました。近くのコンビニだけど、一人で行くのは、はじめてだから、きんちょうしました。

ママにおべんとうを買っていくと、とてもおどろいて、おいしいと泣きながら食べてくれました。ぼくは少し照れたけど、とてもうれしかったです。



優良賞 佐藤 朱さん(小4) 「家族でうでずもう大会」

わたしは、家族で、うでずもう対決をするのが好きです。

まずは、わたしと弟。「レディゴー。」弟には負けてしまいます。次に、わたしとお母さん。お母さんは強くて、うでがビリビリします。力をふりしぼって、なんとか勝つことができました。最後は、お母さんと弟。いい勝負です。けれど、ぜっ対に弟が勝ちます。とても楽しいです。

ちなみに、弟が毎回ゆう勝する理由。それは、ひみつです。

優良賞 早房 駿弥さん(小6) 「妹」

僕には弟が一人と妹が二人いる。上の妹が生まれた時は五歳だったのでよく覚えている。とてもかわいくて僕がミルクをあげたり抱っこをたくさんした。その妹が今年入学した。僕は学校のルールを教えたり、困っていたら助けるようにしている。妹がありがたうと言ってくれると嬉しいからだ。弟と妹と三人と一緒に登校できるのはあと半年だけなので安全に通いたい。けんかもたくさんするけど、僕は面倒をみるのが好きなので三人のお兄ちゃんでもかっと思ふ。



学年は応募時点のものです。家庭の日カレンダーは、一般社団法人倫理研究所栃木県倫理法人会様の協賛により作成しました。

令和7年度ミライチャレンジプロジェクト事業



ミライチャレンジプロジェクト事業は、地域の様々な課題について若者が自ら提案し主体的に実行する企画や企業・NPO・団体等との協働による企画に対して、活動費の補助及びメンターによる伴走支援やアドバイザーによる助言を行うことにより、活動を活性化するとともに、社会をよりよくする次世代の若者リーダーを育成・輩出することを目的としています。

事業2年目となる本年度は、審査会を経て、8団体がミライチャレンジプロジェクト事業認定団体として選ばれました。7月初めから2月末までの期間、各団体はそれぞれの企画を実行しました。2月の活動報告会では、活動の成果や今後の課題を発表しました。

認定団体と事業内容

団体名	事業内容
学生団体 すずめ!たんけんたい	宇都宮工業高生と共に、使われなくなった屋台自転車をリメイクし、雀宮地区で中高生や地域の人々が自由に交流できる居場所作りを展開した。
タキヤ会議	空き家を利用した子どもの居場所づくりを目指して活動した。県内の先進事例を研究し、今後の空き家の改修及び活用に向けた準備を進めた。
栃木すみつかれ部	しもつかれ作りのワークショップを開催した。様々な媒体に出演したり、郷土料理コンテストで優勝したりするなど、しもつかれの魅力向上を図った。
ツクリテ Marhaba	販売の機会に恵まれないクリエイターをサポートする活動を行った。既存の喫茶店を間借りしてカフェを営業し、クリエイターが制作した作品を販売した。
music × contact	地域の子供たちが音楽に親しみ、楽しめる場づくりを目指し、宇都宮市内の子ども食堂を会場に、楽器づくりや演奏体験のイベントを開催した。
おさつプロジェクト	「さつまいもを媒体にして人と人を繋ぐ」をコンセプトに、塩谷町におけるさつまいもの苗植えや収穫体験を企画し、地域活性化を図った。
学生団体 DIVE-IN	様々な外国語を学んでいる大学生の強みを生かし、小学生が英語だけでなく多様な言語に触れることができるようなイベントの企画・運営を行った。
Orion × Students (おーえす!)	オリオン通りやオリオン通り商店街の魅力を再発信することを目指して、オリオン通りやオリオンスクエアにて、大学生を中心に合同文化祭を開催した。

令和7年度青少年育成市町村民会議等全体連携会議

6月3日（火）、栃木県総合文化センターにおいて「令和7年度青少年育成市町村民会議等全体連携会議」を開催しました。各市町村民会議の代表・事務局と青少年育成関係団体の代表約90名が一堂に会しました。この全体連携会議は青少年育成運動の円滑かつ効果的な推進を図るために、県内全市町村民会議と青少年育成関係団体、指導者が集い、より広い連携の在り方を考えるとともに、青少年育成に係る諸問題について意見交換・情報交換を行い、今後の青少年育成に役立てることを目的としています。前半は各関係機関から今年度の事業説明がなされました。後半は、合同会社ロジカルキットの下田太一氏を講師にお招きし、県民会議事業として永年取り組んできた「親子学び合い事業」のこれまでの経緯とこれからのあるべき姿について、御講話いただきました。次代を担う子どもたちがインターネットとどう向き合っていくことが重要なのか、また周りの大人はどう関わっていけば良いのか等、多くの示唆をいただきました。



青少年育成セミナー

本セミナーは、青少年を様々な角度から見つめ、大人としてどのように向き合っていけばいいのかを、講師を交えて考えることで青少年育成活動の一層の充実につなげるとともに、青少年の自立を支え社会への参加を促すための大人の役割を見直す機会とするため、令和4年度から実施している事業です。

誰もが活躍する社会を作るため、個々がもつアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）に気づこうとし、自分の「当たり前」を振り返ることがよりよい社会づくりにつながります。そこで今年度は、アンコンシャスバイアスがもたらす影響を知り、理解を深めることを通してどのように対処していくかを学んでいくことを目的とし、アンコンシャスバイアス研究所認定トレーナー平田園氏から「アンコンシャスバイアスを知る、気づく、対処する～ひとりひとりの可能性が広がることをめざして～」と題して講演をしていただきました。



栃木県青少年育成県民会議表彰

県民会議では、明日の栃木県を担う青少年の健全育成を促進するため、「とちぎの子ども育成憲章」の理念に沿った活動をもって、青少年の育成に功績のあった、個人、団体及び社会貢献青少年を表彰しています。

令和7年11月13日（木）に栃木県公館において「令和7年度栃木県青少年健全育成功労者等表彰式」を開催し、栃木県青少年健全育成表彰、「家庭の日」絵日記コンテスト入賞者表彰とともに、栃木県青少年育成県民会議表彰を執り行いました。

このうち、栃木県青少年育成県民会議（（公財）とちぎ未来づくり財団）より表彰された方々は以下のとおりです。（五十音順、敬称略）

子ども育成・憲章功労者

蘆山 安之	阿久津美智彦
梅澤 健一	遠藤 廣
木村真理子	五戸 孝
小林 剛	齊藤 佳子
佐藤 利子	柴田 肇子
高野 和弘	田崎 肇
田村 英夫	津村まち子
横田久美子	吉澤 博文
寄川 良一	若田部和正
	他1名

池上 正美	池田 均	石川 茂	井上 哲
大塩 宗里	香取 正義	菊池 正明	木島 應行



子ども育成・憲章功労団体

大田原地区職場警察連絡協議会
 鹿沼警察署管内少年指導委員会
 白沢保全隊
 日光警察署管内少年指導委員会
 細谷・上戸祭地区青少年育成会
 山本防犯パトロール隊

勝山駐在所防犯連絡協議会
 申内環境保全会
 那須烏山市青色防犯パトロール隊
 芳賀南小学校みまもり隊・スクールガード
 本郷北小の児童見守り隊

社会貢献青少年

須長歩乃樺

優良青少年団体

（今年度該当団体なし）



市町村民会議活動報告

益子町青少年育成協議会

益子町青少年健全育成実行委員では、毎年「益子町青少年健全育成大会」を開催しております。この事業は学校や地域をはじめ、家庭・個人が明るい地域や家庭づくりに取り組み、未来を担う青少年の健全なる育成を願い、町民総ぐるみで明るく健全な地域づくりや家庭づくりに取り組むことを目的として開催しております。

今年度は益子町及び栃木・真岡人権啓発活動地域ネットワーク協議会主催の「人権ミニフェスティバル2025in益子町」との共催で11月22日（土）に開催いたしました。

第1部では町内小中学生を対象に開催している「三行詩コンクール」の表彰式を行いました。今年度のテーマは「人権について～みんなが幸せに生きるために～」。子どもたちの自由な視点から生まれる様々な応募作品の中から小学生の部・中学生の部よりそれぞれ最優秀賞、優秀賞に選ばれた作品を表彰し、当日は4名の子どもたちが参加してくださいました。

第2部では人権ミニフェスティバルにおいて、劇団らくりん座による「あらしのよるに」が上演されました。劇を通じ、自分らしく生きること、また相手を尊重し認め合うこと、『人権』とは何かということを青少年健全育成の重要な第一歩として、親子で考える素晴らしい機会になったと思います。

今回の大会は初めて他イベントとの共催となりましたが、例年とは違った形で子どもたちの健全な育成を推進することができました。今後も益子町民が一致団結して健全な地域づくり・家庭づくりができるよう、青少年健全育成に寄与していきたいと思っております。

【参考データ】 開催費用：約20万円（青少年健全育成大会のみ）



市貝町青少年健全育成推進委員会

今年度は、市貝ジュニアリーダースクラブ（JLC）主催事業「おかのぼRock Fest.」を初開催しました。市貝町青少年健全育成推進委員会は市貝JLC音楽フェス実行委員会の一員として参画し、高校生たちとともに企画・運営に携わりました。

「おかのぼRock Fest.」は、自主的な活動がほとんどなかったJLCの活動を見直すべく開催したワークショップの際に、高校生から出た「この町で音楽フェスをやりたい」という意見からスタートしています。何もかもが初めてということもあり、企画段階から準備まで試行錯誤の連続でしたが、高校生と地域の大人の協力により、今までの市貝町には無い新しいものを生み出すことができました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、県内外からのべ500人の方に来場していただきました。若者による「U19バンドステージ」や、ゲストアーティスト演奏に加え、JLCによる来場者向けのプレゼント抽選会も実施し、会場は大きな盛り上がりを見せました。来場者アンケートでは、次年度も開催してほしいなど前向きな意見を多くいただいております。

イベント全体を通して、高校生が大人と対等に意見を言い合ったり、主体的に行動をするようになったりと、大きな変化が見られました。地域活性化に加え、青少年育成教育としても非常に大きな役割を担ったイベントとなりました。今後も「おかのぼRock Fest.」が継続され、市貝町と若者が、より大きく進化することを期待しています。



栃木県青少年育成指導員会総会及び研修会

令和7年4月18日(金)にとちぎ青少年センターにおいて、令和7年度栃木県青少年育成指導員会総会が開催されました。

総会に先立ち、再任された指導員の方たちに栃木県青少年育成県民会議の千金楽理事長から委嘱状を交付しました。また、退任された5名の方には感謝状を贈呈しました。

総会では、昨年度の事業報告や今年度の計画などについての提案があり、原案通り可決されました。

総会後には、研修会が行われました。地区ごとに3つのグループに分かれ、これまでの活動の振り返りを通して、これからどのような活動を展開できるかの意見交換がなされました。

なお、栃木県青少年育成指導員の制度は、令和7年度末をもって終了となります。指導員の皆様には長きにわたり、青少年の健全育成に御尽力いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



青少年指導者等顕彰

青少年育成指導員の青木榮二様が全国青少年育成県民会議連合会より青少年指導者等顕彰を受賞されました。

青木様は、栃木県青少年育成指導員会会長及び都賀町のこどもを育む会（青少年育成市民会議）事務局長として活動を展開してきました。都賀町のこどもを育む会において行う、小学生親子を対象に年数回実施しているつがの里山ふれあい塾（山林体験事業）においても中心的な役割を担っており、目覚ましい成果を上げられてきました。

これまでの御尽力と素晴らしい御活躍に心より敬意を表します。受賞、誠におめでとうございます。



御寄附いただきました

○菊池宏行氏(東京石灰工業(株)代表取締役社長)

当財団の評議員を務める東京石灰工業株式会社及び佐野ガス株式会社の代表取締役社長である菊池宏行氏から、ミライチャレンジプロジェクト事業及び親子学びあい事業への支援として150万円を寄附いただき、令和7年11月21日(金)に栃木県庁において感謝状の贈呈式が行われました。菊池社長には“青少年の健全育成に役立ててほしい”という思いから毎年御寄附いただいております、今回で16年目になります。

当日は、菊池社長から寄附金の目録が県民会議会長の福田富一知事に手渡され、会長からは感謝状が贈呈されました。



○栃木県更生保護女性連盟

令和8年1月15日(木)に栃木県更生保護女性連盟の「新春のつどい」がホテル東日本宇都宮で開催され、「愛の募金」から御寄附いただきました。栃木県更生保護女性連盟の皆様方からの御支援は、少年の主張発表大会をはじめとした青少年健全育成事業で活用させていただいております。

また、「栃木県少年の主張発表県大会」出場者並びにボランティアの高校生に対する記念品として、長年にわたり図書カードを御提供いただいております。9月20日(土)に栃木県総合文化センターで行われた県大会において、伏木会長から出場した生徒らに記念品を手渡していただきました。



栃木県青少年育成県民会議賛助会員(団体)の御紹介

団体会員(50音順・敬称略)

令和8年2月現在 157団体

※個人情報保護のため個人会員(187名)の方々の掲載は控えてさせていただきます。

足利小山信用金庫
 足利市更生保護女性会
 一般財団法人 栃木県青年会館
 一般財団法人 栃木県連合教育会
 一般社団法人 ガールスカウト栃木県連盟
 一般社団法人 栃木県医薬品登録販売者協会
 一般社団法人 栃木県銀行協会
 一般社団法人 栃木県経営者協会
 一般社団法人 栃木県子ども会連合会
 一般社団法人 栃木県山岳・スポーツライミング連盟
 一般社団法人 栃木県歯科医師会
 一般社団法人 栃木県商工会議所連合会
 一般社団法人 栃木県幼稚園連合会
 一般社団法人 栃木県レクリエーション協会
 茨城寺岡オート・ドア株式会社
 宇都宮西ライオンズクラブ
 宇都宮文化センター株式会社
 栄研化学(株) 那須事業所
 王冠ボウル
 学校法人東洋育英会
 株式会社 足利銀行
 株式会社 アメザワ
 株式会社 荒井モータース
 株式会社 井上総合印刷
 株式会社 エフエム栃木
 株式会社 オヤマ
 株式会社 小山
 株式会社 小山商会 筑波営業所
 株式会社 島崎酒造
 株式会社 清水造園
 株式会社 下野新聞社
 株式会社 新成エンジニアリング
 株式会社 太陽警備保障
 株式会社 大高商事
 株式会社 高津製作所
 株式会社 栃木銀行
 株式会社 とちぎテレビ
 株式会社 栃木放送
 株式会社 ブレーン
 株式会社 本田技術研究所 統括機能本部
 人事企画推進室 庶務・渉外ブロック
 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷
 株式会社 ユーテック
 環境整備 株式会社
 菊地歯車 株式会社
 公益財団法人 産業雇用安定センター
 公益財団法人 栃木県スポーツ協会
 公益財団法人 栃木県農業振興公社
 公益財団法人 栃木県ひとり親家庭福祉連合会
 公益財団法人 栃木県保健衛生事業団
 公益財団法人 日本ボーイスカウト栃木県連盟
 公益社団法人 栃木県看護協会
 公益社団法人 栃木県経済同友会

公益社団法人 栃木県獣医師会
 公益社団法人 栃木県食品衛生協会
 公益社団法人 栃木県防犯協会
 佐野ガス 株式会社
 佐野信用金庫
 佐野地区金融団
 下野市議会
 社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会
 社会福祉法人 蓬愛会
 鈴運メンテック 株式会社
 鈴木印刷 株式会社
 滝沢ハム 株式会社
 「小さな親切」運動栃木県本部
 地方独立行政法人 新小山市民病院
 中央労働金庫 栃木県本部
 都賀総合開発 株式会社
 東亜警備保障 株式会社
 東海興商 株式会社
 東京石灰工業 株式会社
 東石建設 株式会社
 東石リース 株式会社
 栃木県PTA連合会
 栃木県アミューズメント施設営業者協会
 栃木県医師会
 栃木県開拓農業協同組合
 栃木県空手道連盟
 栃木県弓道連盟
 栃木県建設産業団体連合会
 栃木県剣道連盟
 栃木県興行生活衛生同業組合
 栃木県公共図書館協会
 栃木県更生保護女性連盟
 栃木県高等学校PTA連合会
 栃木県高等学校体育連盟
 栃木県高等学校長会
 栃木県公民館連絡協議会
 栃木県コミュニティ協会
 栃木県市議会議長会
 栃木県肢体不自由児者父母の会連合会
 栃木県市長会
 栃木県市町村教育委員会連合会
 栃木県社会教育委員協議会
 栃木県射的協会
 栃木県小学校長会
 栃木県商工会女性部連合会
 栃木県商工会青年部連合会
 栃木県商工会連合会
 栃木県職場警察連絡協議会
 栃木県女性団体連絡協議会
 栃木県書店商業組合
 栃木県私立中学高等学校連合会
 栃木県神社庁
 栃木県信用金庫協会
 栃木県信用保証協会

皆様からの温かい
御支援に感謝
申し上げます。



栃木県青少年育成アドバイザー会
 栃木県青少年育成指導員会
 栃木県青少年クラブ協議会
 栃木県青少年指導員会連絡協議会
 栃木県青少年団体連絡協議会
 栃木県ソフトテニス連盟
 栃木県ソフトボール協会
 栃木県卓球連盟
 栃木県たばこ販売協同組合連合会
 栃木県地域婦人連絡協議会
 栃木県中学校体育連盟
 栃木県中学校長会
 栃木県中小企業団体中央会
 栃木県町村会
 栃木県町村議会議長会
 栃木県農業協同組合中央会
 栃木県バドミントン協会
 栃木県ハンドボール協会
 栃木県美容業生活衛生同業組合
 栃木県保護司会連合会
 栃木県民生委員児童委員協議会
 栃木県薬事工業会
 栃木県遊技業協同組合
 栃木県ユネスコ連絡協議会
 栃木県ラグビーフットボール協会
 栃木県理容生活衛生同業組合
 栃木県林業振興協会
 栃木県連合青年団
 栃木県労働者福祉協議会
 栃木市青少年問題協議会
 栃木商工会議所
 栃木たばこの会
 獨協医科大学病院
 トヨタカローラ栃木 株式会社
 那珂川町更生保護女性会
 中村技研 株式会社
 那須烏山市更生保護女性会
 那須南農業協同組合
 芳賀赤十字病院
 はが野農業協同組合
 芳賀町工業団地連絡協議会
 平石環境システム 株式会社
 藤井産業 株式会社
 平成アルミ 株式会社
 平成理研 株式会社
 水戸通信工業 株式会社
 有限会社 正栄社印刷所
 有限会社 高久燃料店
 有限会社 那須クリーンセンター
 ライオンズクラブ国際協会333-B地区

栃木県青少年育成県民会議 賛助会員募集

とちぎの子ども
力になってくれる
賛助会員を募集しています



栃木県青少年育成県民会議では、「とちぎ心のスクラム県民運動」の主唱者として、次世代の栃木県を担う青少年の健全な育成を目的とし、様々な事業を行っています。



ミライチャレンジプロジェクト

若者が自ら提案し、主体的に実行する企画や企業・NPO・団体等との協働による企画を募集し、その優れたものに対して活動費を補助し、メンターによる伴走支援とアドバイザーによる助言を行っています。



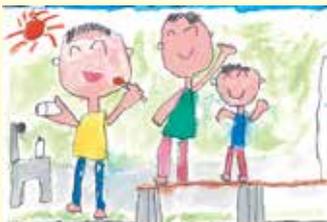
少年の主張

中学生が、日頃感じていることや考えていることを発表することで、若者としての誇りと自主性を育む事業を行っています。



「家庭の日」絵日記コンテスト

家族のふれあいや思い出をテーマとした絵日記コンテストを実施しています。



親子学び合い事業

～ネット時代の歩き方講習会～

県内各学校でインターネットとの向き合い方について講演を実施しています。



明日の“とちぎ”を担う青少年が、夢と希望を持って心豊かでたくましく成長することは、県民全ての願いです。

現在多くの賛助会員の皆様から会費をお預かりして、活動経費に充てさせていただいておりますが、より充実した活動の推進のために、更なる御支援が必要となっております。

つきましては、栃木県の青少年の健全育成のために、多くの県民の皆さまに趣旨を御理解いただき、賛助会員としてお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和8年3月

栃木県青少年育成県民会議 理事長 千金 楽 宏

賛助会員数 (令和8年2月現在) 個人 187人
 団体 157団体
 賛助会費 団体 (1口) 10,000円
 個人 (1口) 3,000円

■県民総ぐるみで“とちぎ”の青少年の健全育成に取り組みましょう
 加入いただける場合は、<https://www.tmf.or.jp/youth/support>から、「賛助会員加入申込書」をダウンロードして申し込みをお願いします。



お問い合わせ

栃木県青少年育成県民会議 (公益財団法人とちぎ未来づくり財団 青少年育成課)

〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8 (栃木県総合文化センター)

TEL : 028-643-1005 FAX : 028-650-5284 Mail : ikusei@tmf.or.jp